

科目名	社会福祉論1（保育士必修：社会福祉士必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	久保 美由紀				
内容および計画	<p>この科目は、社会福祉の歴史的展開をふりかえることを中心としながら、今日の社会福祉について知るとともに、今後の社会福祉の方向性を考える基礎を学ぶことを目的としています。</p> <p>社会構造の変容とともに、私たちの生活やその生活を取り巻く社会システムも変容していき。そのようななかで生じる生活問題は多様となり、また量的にも増大し、複雑化してきています。このような問題に対応し、問題の解決や緩和に関わる社会福祉は現代社会では欠くことができない社会システムとなってきました。そのあり方やサービス提供のあり方について変化する生活問題に対応するものとして変化していかなければならないが、そもそも今日の社会福祉がどのようにつくられ、またどのように変化していくことが求められるのかを考えるうえでの基礎的な学びをすることを意図しています。</p>				
1	「社会福祉」という言葉の意味				
2	社会構造の変容と私たちの暮らしの変化①				
3	社会構造の変容と私たちの暮らしの変化②				
4	暮らし変化と社会システムとしての社会福祉①				
5	暮らしの変化と社会システムとしての社会福祉②				
6	生活問題と社会福祉①				
7	生活課題と社会福祉②				
8	社会の制度としての社会福祉の基本理念				
9	社会福祉の思想・価値・倫理①				
10	日本の社会福祉の歴史的展開①				
11	社会福祉の思想・価値・倫理②				
12	日本の社会福祉の歴史的展開①				
13	日本の社会福祉の歴史的展開②				
14	日本の社会福祉の歴史的展開③				
15	海外の社会福祉				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	七訂版 社会福祉概論 その基礎学習のために	西村昇・日開野博・山下正國編著	中央法規出版	978-4-8058-8416-4	2022
配布する講義資料をベースに授業は進めます。テキストは講義内容の理解をより深めるために活用してもらうものです。また、学習を進める際の補足として参考書にあげるものなどを活用してください。関係法令等の確認は福祉（小）六法が手元にあると便利です。					
参考書	大橋謙作・白澤政和編（2014）『現代社会と福祉 第2版』ミネルヴァ書房。 平岡公一他（2011）『社会福祉学』有斐閣。 岩田正美・上野谷加代子・藤村正之（2013）『ウェルビーイング・タウン 社会福祉入門 改訂版』有斐閣。 その他				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	学習成果レポート				80
	小課題レポート				20

学習成果レポート、小課題レポートについての詳細は、初回講義時に説明します。	
学習到達目標	①生活問題とは何かを理解する。 ②社会福祉の理念、価値、倫理を理解する。 ③社会福祉の歴史的展開から今日の社会福祉のあり方を捉える視点の基礎を身につける。
先修条件	
実務経験	
その他	社会福祉を学ぶことは、自身をはじめすべての世代の人びとの生活や生活している地域、社会について考えることです。視野を広くして学んでください。